

令和 7 年 1 0 月定例教育委員会会議録

令和 7 年 1 0 月 7 日 定例熊谷市教育委員会を星溪園 星溪寮 立礼席に招集する。

○ 出席者

渋谷 昌美、小林 敏宏、加藤 道子、大石 聡一、浅尾 景子

○ 出席事務局

教育次長	三友 孝二
参事兼学校教育課長	中谷 樹
教育総務課長	小暮 洋久
社会教育課長	小澤 信行
中央公民館長	長島 千恵
教育総務課副課長	増田 彩子
教育総務課主査	宮尾 美和

1 1 時 2 6 分 1 0 月定例教育委員会開会

教育長が、令和 7 年 1 0 月定例熊谷市教育委員会の開会を宣言し、本会議の会議録の署名人に小林委員を指名した。

事務局から傍聴希望者がいない旨の報告があった。

9 月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。

日程第 1（報告第 1 0－1 号）寄附申出について

教育総務課長から、令和 7 年 8 月 1 1 日から令和 7 年 9 月 1 0 日までの期間、ふるさと納税として 1 件 1 万 5 千円の寄附申出があったとの報告があった。

また、熊谷図書館へ戦争関連の資料として、「写真帳と熊谷高等女学校卒業記念アルバム」6 千円相当を東京都練馬区在住の方から、「軍服（上着）冬用とコート（近衛騎兵隊用）」1 万 5 千円相当を匿名の方から、「出征ののぼり旗」1 万円相当を市内在住の西條氏から、「海軍士官学校制服 他 1 9 点」9 万 3 千円相当を市内在住の塚本氏から、それぞれ寄附申出いただいたとの報告があった。

日程第 1（報告第 1 0－2 号）1 0 月教育委員会行事予定について

今後の予定として、1 1 月 3 日に文化功労者等表彰式を大里生涯学習センターで開催し、表彰式終了後に 1 1 月定例教育委員会を同会場で開催する予定であるとの報告があった。

また、来年の 3 月定例教育委員会の日程について、市議会の都合により、当初予定していた 2 月 2 7 日から 2 月 2 4 日へ日程を変更し、会場については現在調整中

であるとの報告があった。

日程第 1（報告第 10－3 号）熊谷市運動部活動地域連携に向けた実証事業「部活動地域連携熊谷モデル」について

学校教育課長から、「部活動地域連携熊谷モデル」の現状について報告があった。

「部活動地域連携熊谷モデル」は、国からの補助を受け、令和 5 年度にスタートし今年で 3 年目を迎える。主に、休日の部活動を教員から切り離し、部活動に地域の人材や組織が協力して、学校の枠を越えた、子どもがスポーツを継続して行う機会を確保する取り組みであるとの説明があった。

現在、本市で行っている部活動は、剣道、陸上競技、ラグビーの 3 種目で、年間 10 回から 15 回程度、土曜日に活動を行っており、現時点では、中学校体育連盟の新人戦や学校総合体育大会にチームを組んで出場するところまでは想定していないが、練習の成果は、個人の財産として、それぞれが自分の学校に戻った時に活躍するための下地づくりのイメージで活動を行っている。人数が少なく満足な練習ができない学校もある中で、市内どこの学校でも、中学生ならば自分がやりたい部活動ができるように門戸を広げているとの説明があった。

子どもや保護者の反響は、技術の向上に関して十分な成果があると同時に、友人が増え、学校の垣根を越えた交流ができていることが大変喜ばれている。

課題としては、活動拠点までの保護者の送迎の負担があるが、現時点で拠点を増やすことが難しい状況であること、部活動の種目が 3 種目だけであることが挙げられる。また、今年度は予算の都合で 9 月からの活動となってしまったが、来年度は年度当初からスタートして、6 月の学校総合体育大会に向けた活動ができるようにしたいとの説明があった。

（質疑等）

小林委員から、参加者多数の場合、抽選を行うとあるがこれまでに抽選になったことはあるのかとの質問があり、学校教育課長から、まだ抽選するまでの人数に至ったことはないとの回答があった。

教育長から、「部活動地域連携熊谷モデル」対象の部活動の種目を増やす場合の候補はあるのかとの質問があり、学校教育課長から、現段階での候補としては、外部指導者の人数が多く、また市内で合同チームによる大会出場が多くなってきた野球を検討しているとの回答があった。しかし、チームを編成し大会へ出場するところまでは想定していないため、それぞれの、体力づくり、仲間づくり、技術の向上を目的に、強化練習の範囲内で活動を検討しているとの説明があった。

日程第 2（議案第 39 号）熊谷市大麻生公民館の臨時休館日について

中央公民館長から、熊谷市公民館条例第 5 条第 2 項に基づき、大麻生公民館の臨

時の休館日を、令和7年11月1日から令和8年4月30日まで設けることを諮るものであるとの説明があった。

今年度、大麻生公民館は、公共施設マネジメント個別施設計画に基づき、施設の老朽化により公民館機能を引き継ぐ地域会館として整備するため、(仮称)大麻生地域会館建築工事を実施するが、過日、入札により施工業者が決定し、10月8日から工事に入る予定であるとの説明があった。当初の計画では、既存公民館を利用しながら、地域会館を建設する予定であったが、入札不調による遅れなどの事情により、工程を変更し敷地全体の工事を行う計画としたことから、11月1日から既存駐車場を使用できなくなってしまう。工事中も公民館建物は使用できるが、ほとんどの利用者は自動車を利用し来館する状況であり、近隣に臨時の駐車場を確保することも困難なため、利用者の安全を確保するとともに円滑に施工するため、臨時の休館日を設けるものであるとの説明があった。

なお、休館についての周知は、地域公民館運営協議会を開催する時間がなかったため、個別に委員に報告し、ほとんどの委員から同意を得ているとの説明があった。(議案は、原案どおり可決)

(その他) 後援等承認決定した事業一覧について

教育総務課長から、令和7年8月16日から令和7年9月15日までに後援等承認決定した事業が18件あったとの報告があった。

(その他) 令和7年9月市議会定例会 市政に関する一般質問について

9月市議会定例会において提出した教育委員会関連の議案等が全て可決された旨の報告があり、同定例会における市政に関する一般質問のうち教育委員会関連回答をまとめたものを机上配布したとの報告があった。

ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和7年10月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

(11時55分 閉会)

署名

教育長 渋谷 昌美

委員 小林 敏宏